

---

令和4年度

本別町教育委員会の活動状況  
に関する点検・評価報告書

---

令和5年9月

本別町教育委員会

# 目 次

## はじめに

I	教育委員会の活動状況に関する点検・評価の概要報告	1
1	教育委員会会議の開催状況	1
2	法規・規則等の制定及び改正状況	4
3	教育委員の活動状況	5
	(1) 教育委員会関係事業	5
4	各種審議会・委員会等審議概況	5
	(1) 本別町社会教育委員会	5
	(2) 本別町スポーツ推進委員会	6
	(3) 本別町文化賞審議会	7
	(4) 本別町学校給食運営委員会	8
5	教育費予算の状況	8
II	教育委員会活動実績 自己点検・評価	10
	■学識経験者からの意見・今後の方向性■	12
6	主な施策の推進状況	13
	(1) 管理課総務担当	13
	(2) 管理課学校教育担当	14
	(3) 社会教育課社会教育担当	15
	(4) 社会教育課文化振興担当	16
	(5) 社会教育課スポーツ担当	16
	(6) 図書館・資料館担当	17
	(7) 本別町学校給食運営事業	17
III	主な施策の実績 自己点検・評価	18
	■学識経験者からの意見・今後の方向性■	19

はじめに

すべての教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して、議会に提出するとともに、公表することが義務づけられています。

また、点検及び評価を行うにあたり、客観性を確保する観点から、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

このことから、本別町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆さんへの説明責任を果たすため、教育委員会の事務の管理・執行状況について学識経験者の貴重な意見を踏まえながら、毎年度点検・評価を行っています。

今回は、第2期「本別町総合教育大綱」（令和3年度から令和7年度までの5カ年計画）をはじめ、各種の教育関係計画及び令和4年度の教育行政執行方針に掲げた施策等について、実施状況や施策の課題、今後の方向性を整理するとともに、一年間における事務事業の管理及び執行並びに活動状況等を踏まえた評価を行い、報告書を作成いたしました。

本別町教育委員会といたしましては、次年度以降についても事務の管理及び執行状況等の点検・評価を行い、施策の効果の検証と改善を絶えず図りながら、引き続き教育施策の着実な推進に努めてまいりますので、今後とも町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年9月

本別町教育委員会

※参考 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

I 教育委員会の活動状況に関する点検・評価の概要報告

本別町教育委員会教育長（令和5年3月31日現在）

職名	氏名	任期		備考
教育長	高橋 哲也	1期	R 3. 10.15 ~ R6.5.11	元 企画振興課長

本別町教育委員会教育委員（令和5年3月31日現在）

職名	氏名	任期		備考
教育長職務代理者	布施 耕一	5期	R 4.10.21~R 8. 10.20	
教育委員	鈴木 清志	3期	R 1.10.21~R 5.10.20	
教育委員	若理 恵	3期	R 3. 1.13~R 7. 1.12	
教育委員	遠山 倫子	2期	R 3.10.20~R 7.10.19	

1 教育委員会会議の開催状況

- ・定例会議 12回開催
- ・臨時会議 1回開催
- ・議案議決 41件

回数	開催日	主な付議案件等
第1回 (定1回)	令和4年 4月26日(火) 本別町体育館 中競技室	議案第 1号 本別町社会教育委員の委嘱について 議案第 2号 勇足地区学校運営協議会委員の委嘱について 議案第 3号 本別・仙美里地区学校運営協議会補欠委員の追加委嘱について 議案第 4号 本別町総合教育研究所所員の委嘱について 議案第 5号 本別町文化財審査委員の委嘱について 議案第 6号 本別町スポーツ推進委員の委嘱(補欠)について 報告・協議事項 (1) 町内小中学校の新型コロナウイルス感染者状況について (2) 本別高校と協力校との連携内容について (3) 教育長動静報告
第2回 (定2回)	5月19日(木) 本別町体育館 研修室	議案第 7号 本別町スポーツ指導員の委嘱について 議案第 8号 本別町学校給食運営委員会委員の委嘱について 議案第 9号 令和4年度一般会計教育費6月補正予算見積りについて 報告・協議事項 (1) 町内小中学校の新型コロナウイルス感染者状況について (2) 「本別町明るい選挙推進協議会」推進委員の選出について (3) 町内小中学校の運動会・体育祭について (4) 教育長動静報告

回数	開催日	主な付議案件等
第3回 (定3回)	6月21日(木) 本別町体育館 中競技室	議案第10号 本別町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価に関する規程に基づく学識経験者の委嘱について 議案第11号 本別町特別支援教育連携会議委員及び専門委員会委員の委嘱について 議案第12号 本別町総合教育研究所所員の委嘱について 議案第13号 本別町スポーツ指導員の委嘱について 議案第14号 本別町スポーツ推進委員の委嘱について 議案第15号 本別町各種文化・スポーツ大会派遣事業補助金交付要綱の一部改正について 報告・協議事項 (1) 町内小中学校の新型コロナウイルス感染者状況について (2) 資料館企画展及び関連事業について (3) 北海道市町村教育委員会研修会について (4) 本別高校を知る説明会について (5) 教育長動静報告
第4回 (定4回)	7月19日(火) 本別町体育館 中競技室	報告・協議事項 (1) 町内小中学校の新型コロナウイルス感染者状況について (2) スポーツイベント等について (3) 教育長動静報告
第5回 (定5回)	8月19日(金) 本別町体育館 中競技室	議案第16号 令和3年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価に係る報告について 議案第17号 令和5年度に使用する小学校用教科用図書の採択について 議案第18号 令和5年度に使用する中学校用教科用図書の採択について 議案第19号 令和5年度に使用する教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する小学校用及び中学校用教科用図書の採択について 議案第20号 本別町野田永述育英基金条例の制定について 議案第21号 令和4年度一般会計教育費9月補正予算見積りについて 報告・協議事項 (1) 町内小中学校の新型コロナウイルス感染者状況について (2) 令和4年度一般会計教育費8月補正予算見積りについて (3) 教育長動静報告
第6回 (定6回)	9月21日(水) 本別町体育館 研修室	議案第22号 本別町文化賞審議会審議員の委嘱について 議案第23号 本別町スポーツ賞審議会委員の委嘱について 報告・協議事項 (1) 本別町教育委員会の人事について (2) 町内小中学校の新型コロナウイルス感染者状況について (3) 全国学力・学習状況調査について (4) 令和4年度一般会計教育費9月補正予算見積りについて (5) 十勝管内市町村教育委員会教育委員研修会について (6) スポーツイベントについて (7) 資料館企画展について (8) 教育長動静報告

回数	開催日	主な付議案件等
第7回 (定7回)	10月21日(金) 本別町体育館 研修室	議案第24号 令和4年度本別町文化奨励賞の決定について 報告・協議事項 (1) 町内小中学校の新型コロナウイルス感染者状況について (2) 令和4年度「食べて学ぶふるさと給食」の実施について (3) 十勝管内市町村教育委員会教育委員研修会について (4) 教育長動静報告
第8回 (定8回)	11月22日(火) 本別町体育館 研修室	議案第25号 本別町歴史民俗資料館管理運営規則の一部改正について 議案第26号 本別町ふれあい多目的アリーナ設置条例施行規則の一部改正について 議案第27号 令和4年度一般会計教育費12月補正予算見積りについて 報告・協議事項 (1) 令和4年度一般会計教育費11月補正予算見積りについて (2) 町内小中学校の新型コロナウイルス感染者状況について (3) 町内小中学校における冬期の学校閉庁日について (4) 令和5年本別町成人式の名称変更について (5) 教育長動静報告
第9回 (定9回)	12月27日(火) 本別町体育館 研修室	議案第28号 本別町野田永述育英奨学資金貸付事業規則の制定について 議案第29号 令和5年度一般会計教育費予算見積りについて 報告・協議事項 (1) 町内小中学校の新型コロナウイルス感染状況について (2) 部活動の地域移行について (3) 教育長動静報告
第10回 (定10回)	令和5年 1月19日(木) 本別町体育館 研修室	議案第30号 令和4年度一般会計教育費1月補正予算見積りについて 報告・協議事項 (1) 令和5年度教育行政執行方針について (2) 町内小中学校の新型コロナウイルス感染状況について (3) 教育長動静報告
第11回 (定11回)	2月22日(水) 本別町体育館 中競技室	議案第31号 令和5年度教育行政執行方針について 議案第32号 令和4年度本別町教育功績者表彰の受賞者の決定について 議案第33号 令和4年度本別町少年少女文化奨励賞、スポーツ奨励賞の受賞者の決定について 議案第34号 令和4年度一般会計教育費3月補正予算見積りについて 報告・協議事項 (1) 町内小中学校の新型コロナウイルス感染状況について (2) 卒業式におけるマスクの取扱い等について (3) 令和5年度一般会計教育費予算調整結果について (4) 令和4年度学校林現況等の報告について (5) 教育長動静報告

回数	開催日	主な付議案件等
第12回 (臨1回)	3月11日(土) 本別町中央公民館 視聴覚室	議案第35号 校長・教頭人事の内申について
第13回 (定12回)	3月23日(木) 本別町体育館 中競技室	議案第36号 本別町教育委員会の人事について 議案第37号 本別町教育指導員の委嘱について 議案第38号 本別町教育相談員の委嘱について 議案第39号 本別町特別支援教育連携会議規則の一部改正について 議案第40号 本別町総合型地域文化・スポーツクラブ検討協議会設置要綱の制定について 議案第41号 本別町総合型地域文化・スポーツクラブ検討協議会委員の委嘱について 報告・協議事項 (1) 町内小中学校入学式について (2) 教育長動静報告

## 2 法規・規則等の制定及び改正状況

(1) 教育委員会関係 条例の制定 1件 規則の制定 1件 規則の一部改正 3件  
要綱の制定 1件 要綱の一部改正 1件

項目	制定及び改正状況
条例等	<p>条例の制定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本別町野田永述育英基金条例</li> </ul> <p>規則の制定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本別町野田永述育英奨学資金貸付事業規則</li> </ul> <p>規則の一部改正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本別町歴史民俗資料館管理運営規則の一部を改正する規則</li> <li>・本別町ふれあい多目的アリーナ設置条例施行規則の一部を改正する規則</li> <li>・本別町特別支援教育連携会議規則の一部を改正する規則</li> </ul> <p>要綱の制定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本別町総合型地域文化・スポーツクラブ検討協議会設置要綱</li> </ul> <p>要綱の一部改正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本別町各種文化・スポーツ大会派遣事業補助金交付要綱の一部を改正する要綱</li> </ul>

### 3 教育委員の活動状況

#### (1) 教育委員会関係事業（計11日・延べ31人）

月 日	事 業 名 等	
令和4年 7月12日	本別高校を知る説明会	委員2人
7月14・15日	北海道市町村教育委員研修会	委員3人
8月 2日	スポーツ講演会	委員2人
11月 3日	本別町文化奨励賞授賞式	委員4人
11月14日	十勝管内市町村教育委員会教育委員研修会	委員3人
11月22日	食べて学ぶふるさと給食	委員3人
12月19日	町長と教育を語る会	委員3人
令和5年 1月 8日	二十歳を祝う会	委員4人
1月18日	ミッチェル訪問団ウェルカムパーティー	委員4人
3月11日	教育功績者表彰、少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式	委員3人

### 4 各種審議会・委員会等審議概況

審議会・委員会名	審 議 案 件 等
(1)本別町社会教育委員会	第1回 令和4年9月20日（火） ① 報告事項 ・令和4年度十勝社会教育委員協議会理事会 ・第42回北海道市町村社会教育委員長等研修会 ・令和4年度北海道社会教育委員連絡協議会表彰候補者の推薦 ② 協議事項 ・令和5年本別町二十歳を祝う集い（仮称）について ・令和3年社会教育事業報告について ・令和4年度上半期分事業報告（8月末まで） ・令和4年度下半期分事業計画（9月～3月）について
	第2回 令和5年3月10日（金） ① 報告事項 ・第61回北海道社会教育研究大会（留萌大会）兼 全国社会教育委員連合北海道ブロック大会 ・令和4年度（第26回）十勝管内社会教育委員長等研修会 ・令和4年度第2回十勝社会教育委員協議会役員会（オンライン） ・令和4年度（第51回）十勝管内社会教育委員研修会 ② 協議事項 ・令和4年度社会教育課事業報告及び令和5年度新規事業について ・社会教育課所管施設の利用に関するアンケート結果について



	・令和5年度 本別町社会教育委員任期満了について
審議会・委員会名	審 議 案 件 等
(2)本別町スポーツ推進委員会	<p>第1回 令和4年5月27日（金）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①新年度事業計画について</li> <li>②ジュニア体験活動について（今年度実施内容）</li> <li>③ほんべつ健康ウィーク2022について</li> <li>④健康増進・スポーツ施設 MAP 完成版</li> <li>⑤スポーツイベントについて</li> <li>⑥スポーツ推進委員の任期について</li> <li>⑦その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツ実施環境の構築支援事業について</li> <li>・本別町スポーツ推進委員協議会総会について</li> <li>・十勝スポーツ推進委員協議会総会</li> </ul> </li> </ul>
	<p>第2回 令和4年7月7日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①委嘱状交付</li> <li>②スポーツ推進委員について</li> <li>③令和4年度事業について</li> <li>④ほんべつ健康ウィーク2022について</li> <li>⑤ジュニア体験活動「親子キャンプ」「親子登山」について</li> <li>⑥スポーツイベントについて</li> <li>⑦総合型地域スポーツクラブの調査研究について</li> <li>⑧その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツ実施環境の構築支援事業について</li> <li>・本別町スポーツ推進委員協議会総会について</li> <li>・十勝スポーツ推進委員協議会総会</li> <li>・スポーツ推進委員による広報紙記事掲載について</li> <li>・十勝東北部体育大会（全4種目）の開催について</li> <li>・施設改修関係</li> </ul> </li> </ul>
	<p>第3回 令和4年8月30日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ほんべつ健康ウィーク2022の反省及び次年度に向けて</li> <li>②ジュニア体験活動「水上レクリエーション」「親子登山」の反省及び次年度に向けて</li> <li>③本別町スポーツイベント事業「スポーツでまちを元気に！水玉合戦2022」について</li> <li>④総合型地域スポーツクラブの調査研究について</li> <li>⑤その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者スポーツ実施環境の構築支援事業について</li> <li>・3担当合同事業「健康づくり運動教室」について</li> <li>・令和4年度「義経教室」について</li> <li>・北海道スポーツ推進委員研究協議会について</li> </ul> </li> </ul>
	<p>第4回 令和4年10月26日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①総合型地域スポーツクラブの調査研究について</li> <li>②ウォーキング&amp;ランニング MAP Vol.3について</li> <li>③障がい者スポーツ運動指導について</li> <li>④今後の事業等について</li> <li>⑤新年度に向けての検討事項（予算等）について</li> <li>⑥その他</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝東北部体育振興会議</li> </ul>
審議会・委員会名	審 議 案 件 等
	<p>第5回 令和4年12月1日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ジュニア体験活動「少年少女冬のレクリエーション」について</li> <li>②ウォーキング&amp;ランニング MAP Vol.3について</li> <li>③新年度事業等について</li> <li>④その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり運動教室「障がい者スポーツ振興事業」について</li> <li>・令和4年度十勝東北部方面小中学校スピードスケート大会</li> <li>・本別町スポーツ少年団交歓大会</li> <li>・令和4年度十勝東北部スポーツ交流会</li> <li>・次年度以降の十勝東北部体育大会及びスポーツ交流会について</li> </ul> </li> </ul>
	<p>第6回 令和5年1月24日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ジュニア体験活動「少年少女冬のレクリエーション」について</li> <li>②本別町スポーツイベント事業について</li> </ul>
	<p>第7回 令和5年2月15日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ジュニア体験活動「少年少女冬のレクリエーション」について（反省等）</li> <li>②巡回ラジオ体操の開催について</li> <li>③総合型スポーツクラブ調査研究について</li> <li>④本別町スポーツイベント事業について</li> <li>⑤その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツ振興備品について</li> <li>・本別町スポーツ少年団交歓大会「キンボール」について</li> <li>・令和4年度十勝東北部冬季スポーツ交流会について</li> </ul> </li> </ul>
	<p>第8回 令和5年3月29日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①総合型地域文化・スポーツクラブ検討協議会について</li> <li>②本別町スポーツイベント事業について</li> <li>③令和5年度事業について</li> <li>④ウォーキング&amp;ランニングマップについて</li> <li>⑤その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・十勝東北部冬季スポーツ交流会について</li> <li>・少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式</li> <li>・障がい者スポーツ器具体験会について</li> </ul> </li> </ul>

(3)本別町文化賞審議会	第1回 令和4年10月18日(火) ①教育委員会からの諮問書の提出 ②令和4年度本別町文化奨励賞候補者について 候補者：文化奨励賞、1団体 ※令和4年10月18日教育委員会へ答申 ③答申：文化奨励賞 1団体
審議会・委員会名	審 議 案 件 等
(4)本別町学校給食運営委員会	第1回 令和4年6月22日(水) ① 嘱状の交付(任期2年) 委員11名に新規委嘱 (各小・中・高の学校長および小・中PTA代表) ② 学校給食共同調理場の概要説明
	第2回 令和4年11月16日(水) ① 給食費の現状と今後の方向性について ② 支援の内容について ③ 検食についての依頼

## 5 教育費予算の状況

### (1) 教育費の予算

令和4年度の教育費の最終予算額(人件費等含む)は585,310千円となり、町一般会計予算総額7,879,402千円(前年度8,042,245千円)に占める割合は7.4%(前年度7.5%)となりました。

### (2) 予算の概要(費目ごとの主な事業内容)

- ①教育総務費 122,620千円  
○教育委員会費 教育委員報酬、学校医報酬、他  
○事務局費 職員等人件費、事務局運営経費、他  
○教育研究所費 総合教育研究所運営経費  
○諸 費 本別高校の教育を考える会補助金、学校教育振興会補助金、小学生小松島市交流研修補助金、本別高等学校創立80周年記念事業協賛金他
- ②小学校費 111,163千円  
○学校管理費 職員等人件費、公務補償金、特別支援教育支援員賃金、学校管理運営費、スクールバス運行委託料  
○教育振興費 英語指導業務委託料、各種教材及び図書購入費、夢と個性溢れる学校活動費補助金、就学援助費、教員用タブレット端末購入他
- ③中学校費 63,820千円  
○学校管理費 公務補償金、特別支援教育支援員賃金、学校運営費、他  
○教育振興費 英語指導業務委託料、各種教材及び図書購入費、夢と個性あふれる

学校活動費補助金、中体連・中文連参加出場費補助金、就学援助費、教員用タブレット端末購入他

- ④社会教育費 99,612千円
- 社会教育総務費 職員等人件費、社会教育委員等報酬、各種講座及び研修等運営経費、費用弁償、ふるさと交流研修旅費、静山研修センターアスベスト含有量分析、静山研修センター解体設計委託、PTA連合会補助金、本別義経太鼓保存会補助金、各種芸術文化大会補助金他
  - 公民館費 職員等人件費、公民館管理運営費、各種文化振興事業費、文化協会補助金、公民館活動推進費補助金、芸術文化事業振興会補助金他
  - 図書館費 職員等人件費、図書館管理運営費、図書館システム運用費、工事請負費、図書購入費、備品購入費、他
  - 資料館費 歴史民俗資料館管理運営費、講師謝礼、「7月15日本別空襲を伝える」等企画展費、他
- ⑤保健体育費 188,095千円
- 保健体育総務費 職員等人件費、スポーツ推進委員報酬、体育館管理運営費、備品購入他
  - スポーツ振興費 職員等人件費、各体育施設管理運営費、ジュニア体験活動事業費、各体育施設備品購入費、体育協会補助金、各種スポーツ大会補助金、スポーツイベント実行委員会補助金、他
  - 学校給食費 職員等人件費、学校給食共同調理場運営費、他

10款 教育費（歳出予算）

（単位：千円）

<b>1項 教育総務費</b>	<b>122,620</b>	<b>4項 社会教育費</b>	<b>99,612</b>
1目 教育委員会費	2,647	1目 社会教育総務費	21,175
2目 事務局費	87,777	2目 公民館費	45,267
3目 教育研究所費	138	3目 図書館費	30,916
4目 諸費	32,058	4目 資料館費	2,254
<b>2項 小学校費</b>	<b>111,163</b>	<b>5項 保健体育費</b>	<b>188,095</b>
1目 学校管理費	100,163	1目 保健体育総務費	40,706
2目 教育振興費	11,000	2目 スポーツ振興費	54,886
3目 学校建設費	0	3目 学校給食費	92,503
<b>3項 中学校費</b>	<b>63,820</b>		

1目 学校管理費	52,408		
2目 教育振興費	11,412		
3目 学校建設費	0		
予 算 合 計		585,310	

## Ⅱ 教育委員会活動 実績自己点検・評価

### 1 教育委員会会議の効果的・効率的運用

教育委員会会議は、定例開催が12回、臨時開催が1回の計13回開催しました。教育委員会会議の開催にあたっては、教育委員会が抱える課題と現状を把握しつつ、教育委員活動の活発化と円滑な会議運営を図るため、教育委員会事務局がある町体育館で、感染対策を講じながら開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、各学校では不特定多数の入校を制限していたため、昨年度に引き続き、授業参観を兼ねた小・中学校における移動教育委員会会議の開催は見合わせました。

一般会計教育費の予算編成時においては、教育委員の意見を積極的に反映すべく、教育行政推進の方向性や施策の構築に向けた協議・審議を行い、実質的な教育行政の決定機関としての機能充実に努めています。

教育行政の推進については、本町が進める生涯学習によるまちづくりの観点から、「ほんべつ学びの日」の普及啓発に努め、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係部局や関係機関・団体と連携を図りながら、幼児から高齢者まで幅広い取り組みとなるよう努めています。

### 2 教育課題への対応

これまで各学校が抱える教育課題の対応については、年度当初において各学校長から学校運営・経営方針等についての説明を受けるとともに、教育委員の思いや意見などを学校運営に反映させるべき意見交換等を行っています。

また、これまで授業参観や学校行事等へも積極的に参加してきたところですが、学校への入校を出来る限り抑え、学校の様子については適宜、教育委員会会議においてお伝えする形をとり、少しでも意見が学校運営に活かされるように、教育行政の推進に努めてきました。

学校においては、新型コロナウイルス感染症の対応が続き、学校行事の内容変更や規模の縮小、「衛生管理マニュアル」に基づく感染防止に配慮しながら教育活動を継続しました。また、学級閉鎖等で登校できない場合は、GIGAスクール構想で導入したタブレット端末を使用しリモート授業を行い、子どもたちの健やかな学びを保障してきました。

今年度の点検・評価結果を的確に分析し、教育委員会事務局の組織体制強化を図りながら、アフターコロナの時代を見据え、次年度以降の教育施策に生かしていきたいと考えます。

### 3 教育委員会事務局との連携

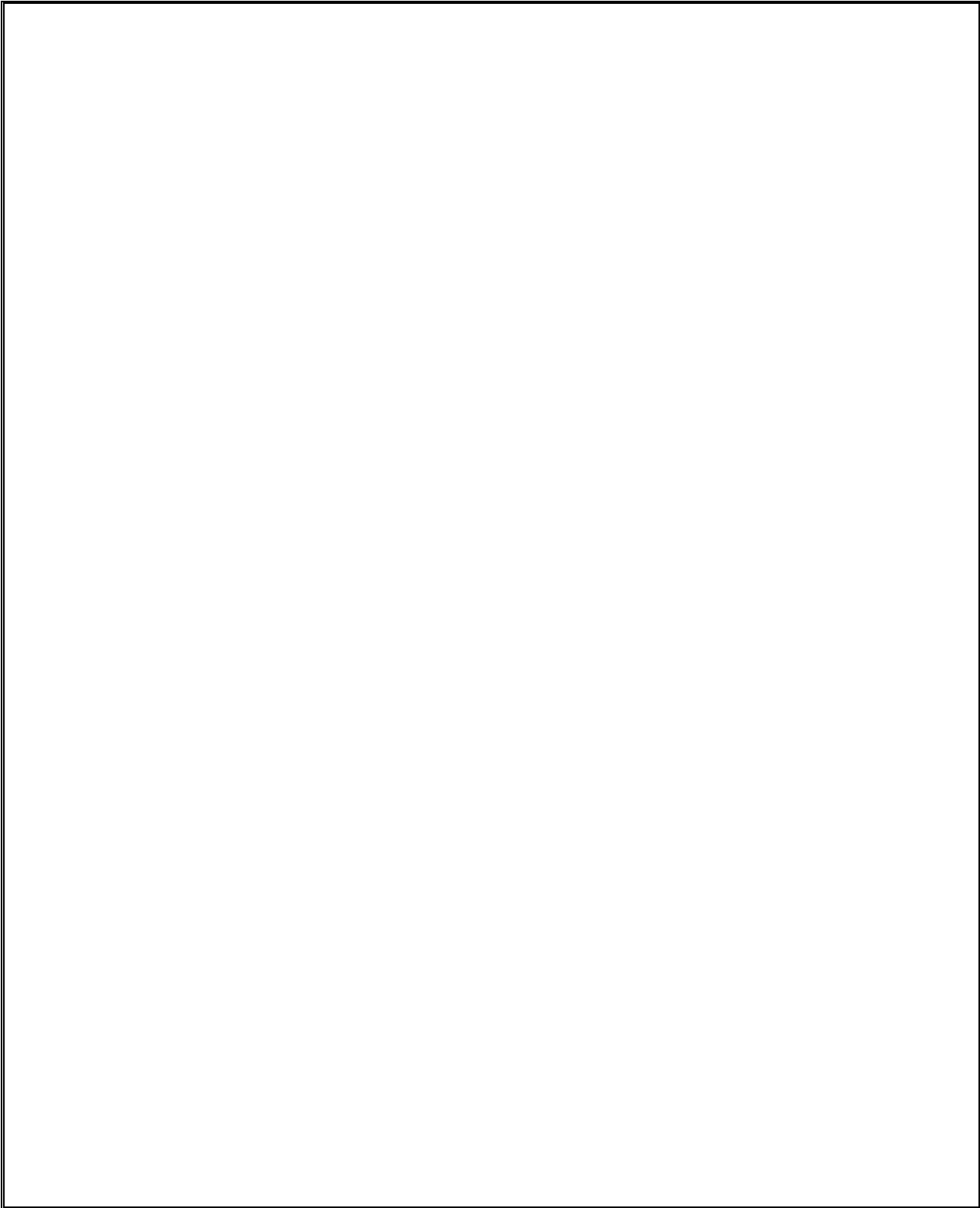
近年の急速な少子高齢化や人口減少、グローバル化や情報化の進展に伴い、社会

環境が大きく変化する中で、教育を取り巻く環境も大きく変化し、学校や地域の抱える課題も複雑・多様化している中で、未来を開拓する多様な人材を育成するために、様々な学習機会を提供し、その成果や経験が地域に還元されることが期待されています。

今後も、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個別最適な学びと協働的な学びを大切に、時代の変化に対応した教育施策を展開するため、教育委員会事務局と連携を図りながら、令和3年度からスタートした第7次本別町総合計画と時期を同じくしてはじまった第2期「本別町総合教育大綱」の方針に基づいた施策を確実に実践するよう努めます。

#### 4 その他

教育委員会の活動状況や教育行政全般における施策等を9月定例会において報告するとともに、広く町民の皆さんにお知らせするため、10月の町広報紙の紙面を活用し「活動状況点検・評価報告書」を掲載します。



## ■■■ 学識経験者からのご意見 ■■■

教育委員会会議は、年間13回の開催で、毎月定例開催を確保しつつ41件の議案を議決するなど、教育行政執行機関としての役割を果たすとともに、適正な運営が図られています。教育委員の活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため授業参観や学校行事等への参加が制限される中で、教育委員会事務局と連携し、学校における子どもたちの様子や新型コロナウイルス感染対策について最大限把握し、適切な教育行政を執行しています。

教育行政の推進については、「本別町総合教育大綱（第2期）」の方針に基づいた施策を実践するとともに、今後とも「政治的中立性の確保、継続性、安定性の確保」等を基本理念として、教育行政を執行されるよう期待します。

「ほんべつ学びの日」の啓発事業である「ほんべつ学びフェスタ」は、所期の目的を十分に考慮し、学びの関心を高め、家庭・学校・地域が連携するためには、どのような内容で開催するのが望ましいのか検討をする必要があります。

今後においても、教育委員会の活動が、広く町民の皆さんに理解されるよう情報発信に努め、教育行政の更なる充実・発展を期待します。

## ■■■ 今後の方向性 ■■■

人口減少や少子高齢化の進行、情報技術やグローバル化の進展などにより、人々の価値観やライフスタイルが大きく変わる中、従来の知識や経験だけでは解を見出すことが難しい時代となっていますが、本町教育委員会では、教育委員会の重要性と教育委員の役割について認識を高めながら、教育委員会の充実と一層の活性化を図り、地域や関係機関、団体等との連携を更に密にし、社会教育の充実はもとより、子どもたちが、自らの良さや可能性を認識し、全ての人を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら未来を切り拓く持続可能な社会の創り手として成長できるよう、必要な資質・能力を育む教育行政を推進してまいります。

教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保については、中立公正が極めて重要なことから従前の合議制を堅持しつつ、一貫した方針の下で執行機関のチェック機能を高めるとともに、広く地域住民の意向を反映した取組を推進してまいります。

新型コロナウイルス感染症の対策は、感染状況が落ち着いている平時においては、換気や手洗いといった日常的な対応を継続しながら、地域や学校の実情に即した対策を講じ、児童・生徒が安心して充実した学校生活を送ることができるよう取り組みます。

また、第2期「本別町総合教育大綱」および「第9次社会教育中期計画」に基づき、関係機関・団体等と連携を図り、学校教育・社会教育の充実に努めるとともに、「地域の子は地域で育てる」を念頭に「ほんべつ学びの日」の普及と推進事業の充実を図っていきます。

教育委員会の活動状況や教育行政の施策等を町広報紙を活用して「活動状況点検・評価報告書」を掲載するなどして、町民の皆さんに広く情報提供してまいります。



## 6 主な施策の推進状況

### 「ほんべつ学びの日」宣言

平成19年9月11日に宣言した「ほんべつ学びの日」は、未来を担う子どもたちの教育を家庭・学校・地域が手を携えて推進するため、「北海道教育の日」および「十勝教育の日」の趣旨を踏まえ、本別町ならではの「ほんべつ学びの日」としたものです。

この学びを「光風・祈風・夢風・実風」の四つの風にたとえて、具体的な事業を展開をしています。各種事業の推進に当たっては、教育委員会、校長会、教頭会の各教育関係機関・団体等と連携しながら取り組んでおりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、これまで当然のようになってきた教育活動・学校行事の中止や見直しを行う中で、児童・生徒の心身の健康を守ること、そして学びを止めないことを最優先に考え、常に最善策を追求し、迅速に取り組んできました。

また、例年、中央公民館で啓発事業として取り組んできた「ほんべつ学びフェスタ」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

### (1) 管理課総務担当

#### ① 教育環境の整備

児童生徒の登下校時における安全確保のためスクールバスにドライブレコーダーを設置しました。また、スクールバスの計画的な更新や営繕に努めるとともに、部活動等に配慮した運行時刻・路線を確保するなど、児童生徒の通学環境の充実と安全運行に努めています。

学校施設では、老朽化した仙美里小学校の受電設備の修繕を行ったほか、中央小学校体育館の網戸製作取り付け工事、本別中学校の温水循環ポンプの修繕を行いました。

#### ② 本別高等学校への支援

令和4年度から本別高等学校は地域連携校となり、協力校である帯広柏葉高校との連携した教育活動などにより、他校の生徒と交流する機会を確保し、協働的な学びを実現しています。また、北海道高等学校遠隔授業配信センターからの遠隔授業の配信など、教育活動への支援等により教育環境の充実が図られています。

令和2年度より新しい支援策で高校2年生を対象としたオーストラリア・ミッチェル海外研修派遣事業は、新型コロナウイルス感染症の流行が未だ収束していない中での海外渡航やホームステイ等の交流事業実施では派遣者の安全確保が難しく、万全な状態での研修を実施することは困難であると判断し、本別高校の教育を考える会役員会において中止を決定しました。3年連続で、海外研修が中止となったことから、代替事業として二セコ町での国内英語研修を実施しました。

その他の支援活動については、本別高等学校及び本別高校の教育を考える会と連携を図り、魅力ある学校づくりのための各種支援策を実施してきております。

7月には小中学生の保護者を対象とした「本別高校を知る説明会」を中央公民館において開催し、在校生や卒業生、保護者を交えたトークセッションを行い、小規模校ならではの魅力の発信に繋げることができました。また、令和5年度の入学生は35名となり、地元の入学者も昨年度の14名から8名増の22名となりました。

しかしながら、少子化と多種多様な上級学校への選択の自由化が進む中で、地元高

校へ進学希望する生徒が減少しており、入学生の確保が非常に厳しく難しいことを痛感しています。

本別高校生の教育環境維持と地元経済の持続的発展を図るため、本別高校の支援の在り方等については、関係機関とさらに協議する中から、その方向性についても見出ししていかなければならないと考えております。

### ③ 徳島県小松島市児童との交流研修

友好都市小松島市立江小学校との交流研修は、これまで隔年で訪問と受入れを交互に行っておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大にともない、児童の安全確保を一番に考え、両学校で協議を行い、昨年度同様リモートによる交流を行いました。

## (2) 管理課学校教育担当

### ① 学校教育

学校教育では、「確かな学力」に支えられた「生きる力」を育成することが重要であり、「確かな学力・豊かな心・健やかな身体」の三位一体による教育の充実を図り、学校や家庭、地域の協力を得ながら、子どもたちが生きていく上で必要な「生きる力」が身につくよう、取り組んできました。

「確かな学力」の育成では、学力向上を図る学校改善プランの見直しなど、各学校の実情に応じた取組みを進めているほか、「本別町学力向上支援委員会」が各学校で取り組む具体策を検証し支援しています。

学びの軸に位置付けしている「英語教育」は、町英語教諭を引き続き任用し、小学校5・6年生の英語授業で巡回指導教諭と連携し、TTのサブ・ティーチャーとして活用するとともに、小学校1・2年生の希望者に対し外国人講師と連携し、「放課後英語教室」を実施しているほか、高校生を対象に英語検定取得に向けた検定試験対策支援として放課後と夏季・冬季の長期休業期間における「講習会」を継続実施しています。

小学校3・4年生および中学校全学年には、英語指導助手（ALT）2名を引き続き派遣し、英語に慣れ親しみながら実践的コミュニケーション能力育成の学習サポートに努めました。

地域全体で子どもたちの学びを育む取り組みとして、勇足地区、本別・仙美里地区に導入したコミュニティ・スクールによる学校と保護者・地域住民との連携については、各地区3回ずつ会議を実施し、各学校の学校経営方針の説明・承認、各学校の取り組みの事例紹介などを行い、学校としての考えが地域に周知されるよう取り進め、また、会議のほか専門部会に分かれての部会活動を2回ずつ行い、委員からの学校運営に対する意見を聴取し、地域の声が学校に届くよう会議の運営に努めました。

### ② 特別支援教育

特別支援教育では、特別支援学級を設置する全ての小中学校に、特別支援教育支援員を配置し、個別支援の充実に努めるため、一人ひとりの子どもたちの教育的ニーズに応じた指導や支援を行っていくため、関係部局と各学校とも連携を図り、個別の教育支援計画を活用し、発達段階に応じた支援を行っております。

### ③ 児童・生徒指導及び健康・安全指導

児童生徒の相談体制については、教育相談員や中学校にスクールカウンセラーを配置し、年2回のいじめアンケート調査を行うとともに、教育次長による学校訪問や悩み相談電話（24時間受け付け）などにより、早期発見、早期対応に努めています。

指導にあたっては、「子どもを育む環境づくり推進会議」および「生活指導連絡協議会」などの組織を活用し、生徒指導上の問題解決や具体的な方策の検討協議も行っています。9月には、子どもを育む環境づくり推進会議の構成メンバーで「みんなで“おはよう”あいさつ運動」を展開し、あいさつと登校時における交通安全指導を行っております。

### (3) 社会教育課社会教育担当

令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の状況から各種活動の停滞を余儀なくされておりましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底した中で、事業の見直しや改善等について協議を行い、事業開催に努めました。

また、コロナ禍や核家族化により人間関係の希薄化が進んでいる現状を踏まえ、家族以外の大人とのふれあいの場を提供し、子どもから大人までが共に活動することで相互に影響しあえる学びの機会を設けることを目的として、令和5年度から開催予定の新事業「学び・こども・フェス」の企画立案も行いました。

#### ① クリスマス交流会

今年度で、3回目の開催となる家庭支援・教育事業の北海道教育大学釧路校、本別理科教育プロジェクト、HVCかめ、児童館指導員と連携して行っている「クリスマス交流会」を「親子」をテーマに開催し、一緒に学習することによる学びの理解を図り、体験活動を通じて豊かな人間性の構築を親子で実践する機会を提供しました。

#### ② 通学合宿「ほんべつ元気学宿」

平成16年度（初年度2回開催）から始まった元気学宿も19年が経過しましたが、近年は、コロナ禍の状況から、宿泊を伴う行事が実施出来ず今年度も開催が中止となりました。

#### ③ 本別・南三陸ふるさと交流研修会（ジュニアリーダー養成事業）

第38年次となったふるさと交流研修会は、夏の訪問については、訪問時期に新型コロナウイルス感染者が全国的に急増したことから、訪問の数日前に急遽中止となってしまいました。冬の受入については、4年ぶりに開催することができ、本別、北海道十勝の自然をレクリエーションや体験活動を通して学び、本別町の子どもたちと宮城県南三陸町の子どもたちが交流を行ないました。

#### ④ 義経教室（高齢者学級）・成人講座

高齢者に生きがいのある日常生活を送っていただくために、健康の維持・増進をはじめとした総合的な学習の場を提供する「義経教室」を、仙美里・勇足・本別の3地区で開催しており、52名の方々が各種講座を受講されています。

本年度は、健康に関する講話、ライフキネティック、移動講座（視察研修）など6講座を開設し、延べ116名の参加をいただきました。

#### ⑤ 本別町民文芸沖積土

多くの皆さんの寄稿と編集委員の方々の努力に支えられている沖積土は、第53号を迎え、編集委員の高齢化が進む一方で、世代交代が上手くいかない状況の中ではありますが、例年と同じページ数で発刊しました。

- ⑥ 静山研修センターアスベスト含有量分析・静山研修センター解体設計委託  
令和3年度に静山研修センターあり方検討会を3回開催した結果、廃館取り壊しが妥当との判断に至り、令和4年度にアスベスト含有量分析と解体設計委託を行いました。令和5年度には、解体工事となります。

#### (4) 社会教育課文化振興担当

##### ① 芸術文化活動

多くの町民の皆さんに芸術文化の関心を高めていただき、創造的な芸術文化活動を推進するため、町芸術文化振興会と協働して札幌交響楽団演奏会を開催しました。

町文化協会との協働による発表会は、舞踊と民謡の祭典は出演希望団体が少なく中止しましたが、吹奏楽合同演奏会・音楽祭・文化祭を新型コロナウイルスの対策を行いながら開催し日頃の活動の成果を披露する機会になりました。また陶芸や絵画、写真や書道、手芸品などの公民館ロビー展（文化祭作品展示を含む）を17回開催し、町民の文化活動発表の場と芸術文化に触れる機会の充実に努めてまいりました。

「本別町文化協会ガイド」を更新し、町ホームページへの掲載や公共施設にポスターを掲示するなどしたほか、舞台活動の活性化を図るため「中央公民館文化活動推進事業」を8回開催し、町民の文化活動への関心を高める取り組みを継続しております。

公民館講座は新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、成人を対象とした「きらめき講座」「太極拳講座」を開催したほか、ものづくりなどの体験を通して子どもたちに豊かな感性を育てていただくため「ジュニア体験活動」を4回開催しました、また子供から成人対象とした「津軽三味線体験会」を2回開催し、参加者から新たな文化団体が設立され、文化団体の担い手の育成に繋がりました。

##### ② 公民館施設の維持・管理等

本年度は、中央公館地下タンクFRPコーティング工事を行いました。今後も「本別町社会教育施設等長寿命化計画」（令和3年～令和12年）に基づき「事後保全」から「予防保全」への転換を進め計画的な修繕・改築等を実施し、施設の延命と利便性を考慮した施設整備に努めてまいります。

#### (5) 社会教育課スポーツ担当

##### ① スポーツの振興・啓発

新型コロナの影響で、実行委員会体制で実施するスポーツイベントは開催できませんでしたが、健康週間事業は3年振り（前回令和元年度開催）に開催することができ、のべ2,173人の参加がありました。この期間中に新井貢教授を講師に迎えスポーツ講演会を開催（70人参加）しています。コロナの状況下でも、誰もが体を動かせる環境をテーマに、YouTubeなどを活用したトレーニング方法の紹介を継続するとともに、ウォーキング&ランニングMAPの継続した作成にあたりスポーツ推進委員などの関係者と詳細について次年度の発行へ向け協議を行い、健康増進に取り組む活動の推進を図って参りました。

また、補助団体である体育協会の主催による「スポーツ講演会・技術講習会」には、のべ177人の参加があり、料理研究家の山瀬理恵子氏、プロサッカー選手の前山功治氏ご夫妻から、スポーツ選手にとっての食の大切さを講演いただくとともに、サッカー

一の技術指導をいただき、地域でスポーツに取り組む活動を行いました。

その他、日常実践 100 日運動事業の実践（のべ 81 人）、健康管理センターとケアセンターとの共催による「健康づくり教室」の開催（12 回のべ 181 人）と、新たに障がいのある方が主体的に運動やスポーツに取り組める環境を整備し、また幅広い世代の方の健康維持や増進を図ること、障がい者スポーツへの理解を深めることなどを目的に「障がい者スポーツ推進事業」を実施し、運動に取り組む町民の裾野を広げることが推進して参りました。

## （6）図書館・資料館

### ① 図書館事業

図書館では、新規事業として個性あるふるさとづくり寄付金を活用した「ちきさんギャラリー」を開設しました。本町出身の絵本作家きくちちきさんの作品を常設するコーナーで、ガラスケースを設置し、オリジナル絵画を購入して、展示しています。今後は年次計画で作品を購入し、展示の更新を図っていきます。

また、動画配信による読書普及では、ボランティアと児童と一緒に朗読に取り組み、活動の広がりを見せています。

### ② 資料館事業

資料館では、企画展「7月15日本別空襲を伝える」のテーマを「旧制本別中学校の悲しみ」とし、空襲で殉職した同校の山内教頭の遺品を中心に展示したほか、山内教頭の孫である HBC 山内要一アナウンサーによる平和講演会と出前授業を行いました。関連事業として、3 回目となる「7・15 忘れないプロジェクト展」を開催したほか、企画展「本高 80 年のあゆみ」で、本別高校の歴史を紹介しました。

また、ボランティアとの協働で平和学習やふるさと学習を進めています。

## （7）学校給食運営事業

### ① 安全・安心な学校給食の提供と食育活動の推進

学校給食は、児童生徒の心と体の健全な発達のために食の重要性、食を通じた地域等の理解、児童生徒が食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付け、自然の恵みや感謝の気持ちが育まれるよう、栄養教諭による食育指導を行ってきており、小学校では各小学校に訪問し全学年を対象に、中学校では勇足中学校にて講演会をおこない、この他に食育だよりの発行もしております。

毎月発行している「給食だより・献立表」については、新メニューや行事食の紹介、食育目標のポイント、地元産野菜の紹介などを掲載し、町ホームページにも載せながら食育の推進を図っています。

11 月には「食べて学ぶふるさと給食」を企画し、本町でとれた食材を使用し、地場農畜産物や地元加工食品の認識や理解を深め、食の安全・安心、食の大切さを学ぶことも目的に取り組みを行っていますが、コロナ禍になってからは、各学校に保護者や生産者、教育委員会関係者等を招いての「親子ふれあい給食」は実施できておりません。

平成 26 年 4 月に供用を開始した現在の学校給食共同調理場では、各小中学校のみならず、へき地保育所（勇足）、本別高等学校においても給食を提供しており、高校生の 85.7% が給食を利用しております。

また、アレルギー食調理室では、小中学校で 15 名の児童生徒に約 27 種類の除去

品目を中心としたアレルギー対応食を提供しています。

### Ⅲ 主な施策の実績 自己点検・評価

本年度も、新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮しながら教育活動を推進しなければならない1年となり、児童生徒の成長に欠かせない様々な体験や活動が必要以上に中止・縮小されないよう、必要な感染対策の徹底は継続しつつ、地域や学校の状況を踏まえ、教育活動を進めてきたところです。

学校教育の推進につきましては、全国学力・学習状況調査等の分析結果を踏まえた学校改善プランの見直しと実践、確かな学力向上を図るための授業改善、家庭学習の充実等に努めています。ICT教育については、教職員用タブレット端末を整備し、1人1台端末を効果的に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に取り組みました。また、勇足地区及び本別・仙美里地区学校運営協議会では、学校と保護者・地域住民と連携協議しながら、授業における学習支援や学校行事支援など地域の教育力を活用しながら活発な教育活動が展開できる環境づくりに取り組みました。

英語教育の充実には、幼児期から英語に親しみ、小・中・高校と連続性をもって身に着けたコミュニケーション能力や英語力は、変化の激しい今日の社会を生き抜くための礎となると考えており、引き続き英語教諭を任用し、教育課程に入っていない小学校低学年について、健康・子ども課の外国人英語講師と町任用英語教諭による放課後英語教室で、切れ間ない英語学習に取り組んでまいります。

本別高校への支援は、本別高校の教育を考える会と連携し、令和4年度から地域連携校となり、協力校である帯広柏葉高校との連携した教育活動等により他校の生徒交流する機会を確保し、協働的な学びの実現するために新たな支援を行いました。

学校給食は、安全安心な地元産食材の使用率を向上させるとともに、アレルギー対応食も提供する等、児童生徒に関してニーズに沿った取り組みを進めています。また、食材料費の高騰による賄材料費の増額分については、学校給食費に反映させずに町から支援し保護者負担を軽減しました。

社会教育の推進は、誰もが気軽に学べる環境づくりを推進するとともに、教育を通じた「人づくり」や「町づくり」を視点に事業を展開してきていますが、コロナ禍の状況の中でも、感染防止対策を講じながら各種事業を開催しました。

芸術文化の振興については、文化祭をはじめとした各種舞台発表やロビー展の開催など、文化団体やサークル等と連携し、自主的な文化活動に対する支援と我が国の歴史と伝統から生まれ守り伝えられてきた伝統文化の継承活動に努めています。

図書館では、コロナによる利用制限がなくなり、利用人数・貸出冊数ともに増加し、特に児童の利用が伸びました。更なる利用拡大のために、オンラインと対面、両方の特性を生かした読書普及を進めることが必要です。

資料館では、本別空襲企画展と関連事業、本別高校創立80年企画展を開催し、本別ならではの平和教育とふるさと学習、併せて本別高校の広報活動に努めました。語りべの記録や所蔵資料の情報を、利用しやすく残すことが課題です。

スポーツ振興においては、コロナ下において活動が自粛される中でも個人において取り組める運動の裾野を広げつつ、新たな事業を展開し健康増進に向けた機会を広げるとともに、子どもたちの健全育成に向けた活動にも努めることができました。

## ■■■ 学識経験者からのご意見 ■■■

教育委員会事務局の各担当が進める重点施策については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮しながら、義務教育や社会教育、文化及びスポーツの振興を図るための取組みがなされています。

学校運営については、コミュニティ・スクールを十分に活用し、地域全体で学校を支援していくことが重要と考えます。また、英語教育については、幼少期から高校まで一貫して英語を学ぶ環境が整っているのは、すばらしく今後も継続した取組みを願いますが、身近に英語を学べる環境整備も検討すべきと考えます。

本別高校支援の取組みでは、本別高校の教育を考える会とともに活動を展開していますが、令和4年度より地域連携校となり、新たな取組みや効果的な支援の方法について、検討を加えていく必要があります。

GIGAスクール構想で整備したタブレット端末については、学級閉鎖等の際には、リモート授業を行い活用されていましたが、今後は、通常の授業においても有効に活用し学習環境の充実を願います。

子どもの学力は、体力とも密接に関係しており、幼少期から高校まで継続した、スポーツをする環境を作り、運動能力の向上を図る取組みが必要です。

今後も、全ての担当部局において、町民のニーズを的確に捉え、事業の再編成等、費用対効果を十分に検証しながら各種事業を推進されるよう期待します。

## ■■■ 今後の方向性 ■■■

学校運営の推進につきましては、コミュニティ・スクールを活用し、学校が抱える諸課題解決のため、学校・地域・家庭が連携して協議を行っていきます。また、発達段階に応じた能力・個性を最大限に伸ばす教育を進めるため、同一校種間の交流事業を積極的に進めるとともに、幼児教育から学びの延長にある高校教育までを連続で繋ぐ異校種間連携事業を推進していきます。

義務教育の推進につきましては、本別中央小学校の高学年においては引き続き、教科担任制を実施し、教科指導の充実と学習の質の向上、中学校への円滑な接続に繋げてまいります。また、35人を超える学級を有する本別中学校につきましては、町採用の教員を配置し、少人数学級によるきめ細やかな教育を推進いたします。

英語教育については、引き続き英語指導助手や町教育委員会任用の英語教諭を学校に派遣するとともに小学校低学年向けの放課後英語教室の継続するほか、英語に慣れ親しむ環境の整備を検討し、英語教育の充実に努めます。

本別高校の支援活動は、本別高校の教育を考える会や本別高校学校運営協議会と連携協議し、地域連携校の強みを生じた教育活動や進学サポートのため各種支援事業の継続・見直しをしながら、入学促進に向け、地元中学校は、もちろんのこと、近隣中学校へのPR活動を継続して展開していきます。

ICT機器の活用については、1人1台整備されたタブレット端末を活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進し、子どもたちの確かな学力の確実な育成に努めます。

社会教育の推進については、令和4年度からスタートした「第9次社会教育中期計画」に基づき、町民一人ひとりが自主的に学びながら、ふるさと「ほんべつ」に対する愛着や関心を強める中から、豊かな心を育むとともに、生きがいのある充実した生活を営むための施策を推進します。

少子高齢化が進み、社会情勢が激しい昨今ではありますが、「本別町総合教育大綱（第2期）」を基本に、教育環境の整備充実と「家庭・学校・地域」の繋がりを更に深め、教育行政の適切な執行と推進に努めてまいります。





## ほんべつ学びの日宣言

子どもたちは今、100年を越える歴史と恵まれた自然の中で明るく元気に成長しています。

しかし、揺れ動く社会の中であって、私たちには子どもたちが将来に向かって大きな夢を抱き、自己の力を十分に発揮できる環境をつくり上げることが求められています。

そのためには、家庭・学校・地域が融合し、大人と子どもが一緒になって日々学ぶことが大切です。

私たち町民一人ひとりが生涯学習の観点に立ち、子どもたちとともに学びへの関心を高め、ふれあい・豊かな心をはぐくむまちづくりを推進するため、ここに「ほんべつ学びの日」を宣言します。

- 1 みんなの力で、明るく元気な子どもをはぐくみましょう
- 1 郷土や家族を愛し、平和を祈り、命を大切にすることをはぐくみましょう
- 1 将来に夢を持ち、目標に向かってチャレンジする心をはぐくみましょう
- 1 食に感謝し、スポーツに親しんで健康な身体をつくりましょう

平成19年9月11日制定

本別町教育委員会

## 本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価に係る学識経験者の活用

### 学識経験者

経 験 歴	氏 名
元教育委員	我 妻 勇 次
元教育委員会職員（元町職員）	安 藤 修 一
子ども・子育て会議会長	川 本 千 枝
本別高校PTA副会長	山 西 美 奈 子